

# 「建設用地99%取得」

## 豊田市 報告 着工、11年度に先送り

### トヨタテストコース

豊田、岡崎市境で計画されているトヨタ自動車のテストコース建設で、豊田市内の土地取得状況が、計画面積五百二十畝の99%に達した。九日に開かれた市議会十二月定例会で市側が中根大氏（自民クラブ）の質問に答えた。

トヨタ自動車のテストコースに関する人員計画が五千人から四千人に減ったことや、造成工事着手が当初の二〇一〇年度から一一年度へと、一年ほど先送りされることも報告された。

豊田市は昨年九月から、地権者約四百人と

契約交渉を進めてきた。岡崎市内分を含んだ開発区域全体六百六十畝でも、未取得分は残りわずかになっているという。現時点での契約済み金額は二百八十億円。

テストコースをめぐるっては、絶滅危惧種のサシバや、渡り鳥のミ

ソゴイの営巣などが確認され、環境影響評価

が進められている。

（杉山直之）



◆ ◆ ◆

県企業庁は十九日午後二時から、豊田市八幡町のスカイホール豊

田で、事業に関する説明会を開催する。事業概要や自然環境の調査結果などを説明する。

参加希望者は、十五日までに電話などで申し込む。問い合わせは、県企業庁研究施設用地開発課―電052(954)6705―へ。